

河相寿太郎

かわい・ひさたろう

福山商工会議所会頭(第2代)、義倉財団理事

経歴

生:明治27年(1894年)7月1日生まれ

没:昭和52年(1977年)2月28日、享年84歳

明治45年(1912年)	17歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
大正7年(1918年)	23歳	慶応義塾大学理財科卒業
大正7年(1918年)	23歳	帰郷、家業を嗣ぐ
大正7年(1918年)～ 昭和6年(1931年)11月	23～ 37歳	両備鉄道会社支配人
昭和2年(1927年)1月～ 昭和4年(1929年)8月	32～ 35歳	福山商工会議所創立発起人
昭和2年(1927年)12月～ 昭和16(1941年)年5月	33～ 46歳	有限責任信用組合福山金庫(現しまなみ信用金庫)監事
昭和4年(1929年)10月12日～ 昭和18年(1943年)9月30日	35～ 49歳	福山商工会議所副会頭
昭和13年(1938年)1月～ 昭和15年(1941年)1月	43～ 45歳	福山瓦斯(株)監査役
昭和13年(1938年)1月～ 昭和49年(1974年)12月	43～ 80歳	広島地方裁判所調停委員
昭和13年(1938年)10月～ 昭和21年(1946年)10月	44～ 52歳	所得税調査委員
昭和14年(1939年)11月	45歳	広島県備東醤油工業協同組合理事長
昭和15年(1940年)1月～ 昭和42年(1967年)10月	45～ 73歳	福山瓦斯(株)取締役
昭和15年(1940年)10月	46歳	福山商工会議所建設(木造二階建)
昭和15年(1940年)11月	46歳	福山商工会議所役員10年(福山商工会議所会頭より)
昭和16年(1941年)5月～ 昭和25年(1950年)5月	46～ 55歳	有限責任信用組合福山金庫(現しまなみ信用金庫)理事

昭和17年(1942年)3月	47歳	(財)義倉理事
昭和18年(1943年)10月1日～ 昭和21年(1946年)10月7日	49～ 52歳	広島県商工経済会理事、福山支部長
昭和18年(1943年)10月～ 昭和40年(1965年)3月19日	49～ 70歳	福山商工会議所会頭(第2代)
昭和19年(1944年)5月	49歳	広島県備東醤油工業協同組合を解散
昭和20年(1945年)	51歳	福山商工会議所焼失
昭和20年(1945年)	51歳	三菱電機(株)福山工場跡などの有効活用により福山駅前を整備することに貢献
昭和20年(1945年)12月～ 昭和38年(1963年)11月	51～ 69歳	福山調味品製造有限会社社長
昭和22年(1947年)	53歳	福山商工会議所建設(木造二階建)
昭和22年(1947年)5月～ 昭和37年(1962年)11月	52～ 68歳	福山醤油協同組合理事長
昭和23年(1948年)2月～ 昭和42年(1967年)11月	53～ 73歳	中国紡織株式会社取締役
昭和23年(1948年)3月～ 昭和29年(1954年)3月	53～ 59歳	福山公安委員会委員長
昭和23年(1948年)5月	53歳	福山港修築促進期成同盟会会長
昭和23年(1948年)12月～ 昭和31年(1956年)9月	54～ 62歳	福山市民館名誉館長
昭和24年(1949年)1月～ 昭和49年(1974年)12月	54～ 80歳	広島地方裁判所福山支部管内司法委員制度委員
昭和24年(1949年)3月～ 昭和37年(1962年)9月	54～ 68歳	(財)広島県信用保証協会福山支所支所長
昭和24年(1949年)6月～ 昭和40年(1965年)3月	54～ 70歳	発明協会備後支会支会長
昭和25年(1950年)2月～ 昭和44年(1969年)7月	55～ 75歳	株式会社福山魚市場社長
昭和25年(1950年)4月～ 昭和40年(1965年)3月	55～ 70歳	広島県電力協議会福山支部支部長
昭和25年(1950年)10月～ 昭和38年(1963年)3月	56～ 68歳	福山中小企業相談所所長
昭和26年(1951年)1月～ 昭和43年(1968年)3月	56～ 73歳	福山通信事業協力会会長
昭和28年(1953年)2月～ 昭和40年(1965年)3月	58～ 70歳	広島県東部物産斡旋協会会長

昭和28年(1953年)8月～ 昭和35年(1960年)3月	59～ 65歳	福山図書館設立期成同盟会会長
昭和29年(1954年)6月～ 昭和30年(1955年)6月	59～ 60歳	福山ロータリークラブ会長(初代)
昭和30年(1955年)5月～ 昭和31年(1956年)5月	60～ 61歳	福山信用金庫(現しまなみ信用金庫)理事
昭和30年(1955年)6月～ 昭和40年(1965年)3月	60～ 70歳	広島県貿易協会東部支部長
昭和31年(1956年)5月～ 昭和51年(1976年)5月	61～ 81歳	福山信用金庫(現しまなみ信用金庫)理事長
昭和32年(1957年)	62歳	福山商工会議所会館建設(鉄筋三階建)
昭和32年(1957年)3月	62歳	福山商工会議所役員25年(日本商工会議所会頭より)
昭和33年(1958年)1月～ 昭和40年(1965年)3月	63～ 70歳	中国照明普及会福山支部長
昭和34年(1959年)3月	64歳	日本商工会議所感謝状(日本商工会議所会頭より)
昭和34年(1959年)11月	65歳	藍綬褒章
昭和36年(1961年)1月	66歳	山陽新聞社賞
昭和37年(1962年)9月～ 昭和45年(1970年)9月	68～ 76歳	広島テレビ放送株式会社番組審査委員
昭和38年(1963年)11月	69歳	福山調味品有限会社を発展的に解散し、県東部醸造組合を結成
昭和40年(1965年)3月	70歳	福山商工会議所顧問
昭和40年(1965年)11月	71歳	勲四等瑞宝章
昭和41年(1966年)2月	71歳	国民金融公庫福山支所代理所協議会会長
昭和41年(1966年)11月	72歳	紺綬褒章
昭和42年(1967年)10月～ 昭和46年(1971年)2月	73～ 76歳	福山ガス株式会社会長
昭和51年(1976年)5月	81歳	福山信用金庫(現しまなみ信用金庫)会長
—	—	国宝明王院修理保勝会会長

生い立ちと学業、業績

この程6期累進せられた福山商工会議所会頭河相寿太郎氏は、備後地方先覚者河相三郎氏を父として生る。

誠之館中学より慶応義塾に学び、大正7年(1918年)大阪藤田銀行に勤めたが家庭からの要望もだし難く帰郷、家業である醤油醸造等に従事する。

大正9年(1920年)両備鉄道会社の支配人として父社長を補佐し、会社運営に非凡の才能

を發揮して業界に重きをなすに至る。

昭和4年(1929年)以来会議所の最高指導者として地方産業の発展に貢献せられた功績は、現職の会頭としては今回日本商工会議所から唯一人特別功労者として表彰と光栄に浴せられたのも偶然ではない。

この外福山信用金庫理事長、福山調味品有限会社社長、株式会社福山魚市場社長、福山ガス会社取締役、福山中小企業相談所所長、福山市民館名誉会長、福山図書館設立期成同盟会長、義倉財団理事等、関係団体は十指を屈するも尚余りあると云う程である。

人格高潔、資性恬淡、細事にこだわらない典型的ゼントルマンで、福山市の至宝的存在である。(出典1)

出典1:『政治産業文化備後総合名鑑』、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和34年6月

出典2:『備後備中肖像名鑑 郷土を創りつつある人々』、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和37年8月

出典3:『知っとる? ふくやま 検定試験/公式テキスト』、139頁、中国新聞社刊、2007年11月15日

2005年1月24日更新:肩書き●2005年3月9日更新:経歴●2005年3月22日更新:経歴●2005年5月31日更新:名前・経歴・本文●2005年11月11日更新:本文●2006年6月23日更新:タイトル●2006年8月10日更新:タイトル●2006年8月28日更新:経歴・出典●2007年11月30日更新:経歴●